

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	FEPS海老名事業所新工場	階数	地上2F
建設地	海老名市杉久保南三丁目33番1号	構造	S造
用途地域	無指定	平均居住人員	30人
気候区分	6地域	年間使用時間	2,000時間/年
建物用途	事務所・工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年6月 予定	評価の実施日	2015年6月15日
敷地面積	7,140㎡	作成者	(株)総建
建築面積	3,260㎡	確認日	2015年6月30日
延床面積	3,325㎡	確認者	(株)総建



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	67%
③上記+②以外の	67%
④上記+	67%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.5

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.2

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.6

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.5

LR のスコア = 3.7

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.2

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.2

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.4

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b> 工場内居住域が製造事務室、検査室、EBW室、休憩室等に限定されることと、敷地内改築のため立地条件が制限されているため、環境設計に対する配慮は可能な限りの対応とした。		<b>その他</b> 消火設備はガス使用の消火設備は設置していません。
<b>Q1 室内環境</b> 居住域については快適性を確保できる設計を行った。	<b>Q2 サービス性能</b> 空間のゆとり、設備機器の更新性は確保した。災害時用水栓付受水槽、洗浄水量4.8Lの節水型大便器を採用した。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 仮想敷地面積に対する緑地率を25%以上確保した。
<b>LR1 エネルギー</b> 工場として一般的なレベルの省エネルギー配慮を行った。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 工場として一般的なレベルの配慮を行った。	<b>LR3 敷地外環境</b> 雨水貯留槽を設置し、敷地外への雨水排出抑制を行った。音が発生する排水処理室と敷地境界間に防音壁を設置した。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される